

## ▼エムガルティ皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ガルカネズマブ（遺伝子組換え） Galcanezumab（Genetical Recombination） 【分類】 片頭痛治療薬 [抗CGRP抗体製剤]

【単位】 ▼120mg/シリンジ, ▼120mg/オートインジェクター

【常用量】 初回240mg（2本）、維持量1回120mg

■休止後の再開時の再ローディングは医師の判断

■発売時、施設要件、医師要件あり

【用法】 1か月間隔で皮下注（投与30分前に冷蔵庫から取り出し直射日光を避け室温に戻しておく）

■効果判定時期の目安は、投与開始後3か月

■治療継続時も、発作の消失・軽減等があれば中止考慮

【透析患者への投与方法】 常用量（5）

【保存期CKD患者への投与方法】 常用量（5）

【特徴】 カルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）に結合するヒト化IgG4モノクローナル抗体。片頭痛の発症を抑制する（予防薬）。投与1週目より片頭痛日数の減少が認められている。

【主な副作用・毒性】 注射部位反応、皮膚症状、めまいなど

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】 5～9日（1）

【代謝】 内因性IgGと同様の経路でペプチド、アミノ酸へ分解されると推定（1）

【排泄】 尿中排泄率は低い（1）

【CL/F】 185mL/day [PPK解析]（1）

【t1/2】 23～30日（1）

【蛋白結合率】

【Vd/F】 約6～7L/body（1）

【MW】 14.7万

【透析性】 除去されないと思われる（5）

【O/W係数】

【主な臨床報告】

【備考】 凍結を避け2～8℃で遮光保存。激しく振とうしない。室温で保存する場合は30℃を超えない場所で遮光保存し7日以内に使用。

【更新日】 20240729

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。